

アクティブ・ラーニング実践シート

▼本資料は、古典教材に即したアクティブ・ラーニング実践のためのワークシートである。当該の教材を授業で扱うにあたり、効果的なアクティブ・ラーニングが行えるような工夫を盛り込んだ。本資料の活用を通じて、実践的な授業を展開するためのヒントにされたい。

【教材名】「ご当地キャラクターと古典」

【課題】1 下に示したご当地キャラクターの由来とそれに関係する古典作品や伝説、歴史上の人物などについて調べ、発表しよう。

2 知っている土地に関係する古典作品や伝説、歴史上の人物などを調べよう。

3 課題2を踏まえて、ご当地キャラクターを考案しよう。

4 ご当地キャラクター以外に、その土地に関わる古典作品や伝説、歴史上の人物などをもとに考案されたものがあるか、調べよう。

この教材では調べ学習を中心としたアクティブ・ラーニングを想定しているが、一人一人の生徒にとって、より主体的で活発な学習とするために、グループ学習やジグソー法なども積極的に取り入れたい。

・構成と使い方

シート1・2／今に残る古典の名前①／②…実際の課題に入る前に、教科書に紹介された内容について、実際に調べたり、確認したりする際に使用する。

※実際に自分で調べることにより、理解の深まりや定着が期待できる。ワークシートでは、いずれか一つを選んで調べるようにしたが、グループ学習を取り入れ、分担して調べた後に報告し合うようにすれば、調べ方や調べる内容に広がりも出て、学習効果も高まる。ここでの調査方法としては、地図で探す以外に、インターネットや百科事典などを用いるとかなりの情報を得ることができる。

シート3／課題1…ご当地キャラクターのプロフィールについては、インターネットを使って比較的簡単に調べることができよう。キャラクターの由来や関係する作品・伝説・人物については、調べたことを調査メモや資料貼り付けシートにメモしたりコピーを貼ったりして記録し、最終的にシート3にまとめるようにする。

【ジグソー法による授業展開】この課題では、次のような方法によるグループ活動も効果的である。

①クラス全体を7名ずつのグループ（ホームグループ）に分け、グループ内でそれぞれのキャラクターを調べるか担当を決める。（クラスの人数によって、グループの数や人数は調整する。）

②同じキャラクターを担当した者どうしが集まり、グループ（エキスパートグループ）を編成する。

③エキスパートグループで、担当したキャラクターについて協力して調べる。

④ホームグループに戻り、各自がそれぞれのエキスパートグループで調べた内容を報告し合う。

シート4／課題2…調べたことを調査メモや資料貼り付けシートに記録し、最終的にシート4にまとめる。グループ学習としてもよい。

シート5／課題3…キャラクターの名前やプロフィールなど、自由に楽しく考えさせたい。調べた内容が、キャラクターの造形やプロフィールに生かしているかどうかも重要なポイントとなる。他の人やグループが考えたキャラクターを見ながら、工夫点などを交流し合う。

シート6／課題4：記入例に挙げた菓子の商品名や通りの名のようなもの以外にも、公園の名、動植物名など、古典に由来した命名は意外に多い。生徒に身近なところでは、飲食店などにも多く使われている。

シート／作業用・調査メモ：図書資料で調べたことなどをメモしておくためのシート。課題1・2の調べ学習などの際に、ノート代わりに使用する。

シート／作業用・資料貼り付けシート：資料のコピーや、インターネットからの情報をプリントアウトしたものなどを貼り付けておくためのシート。ノート代わりに使用する。

※シート1～6については記入例を示した。

「当地キャラクターと古典①」

年 組 番 名前

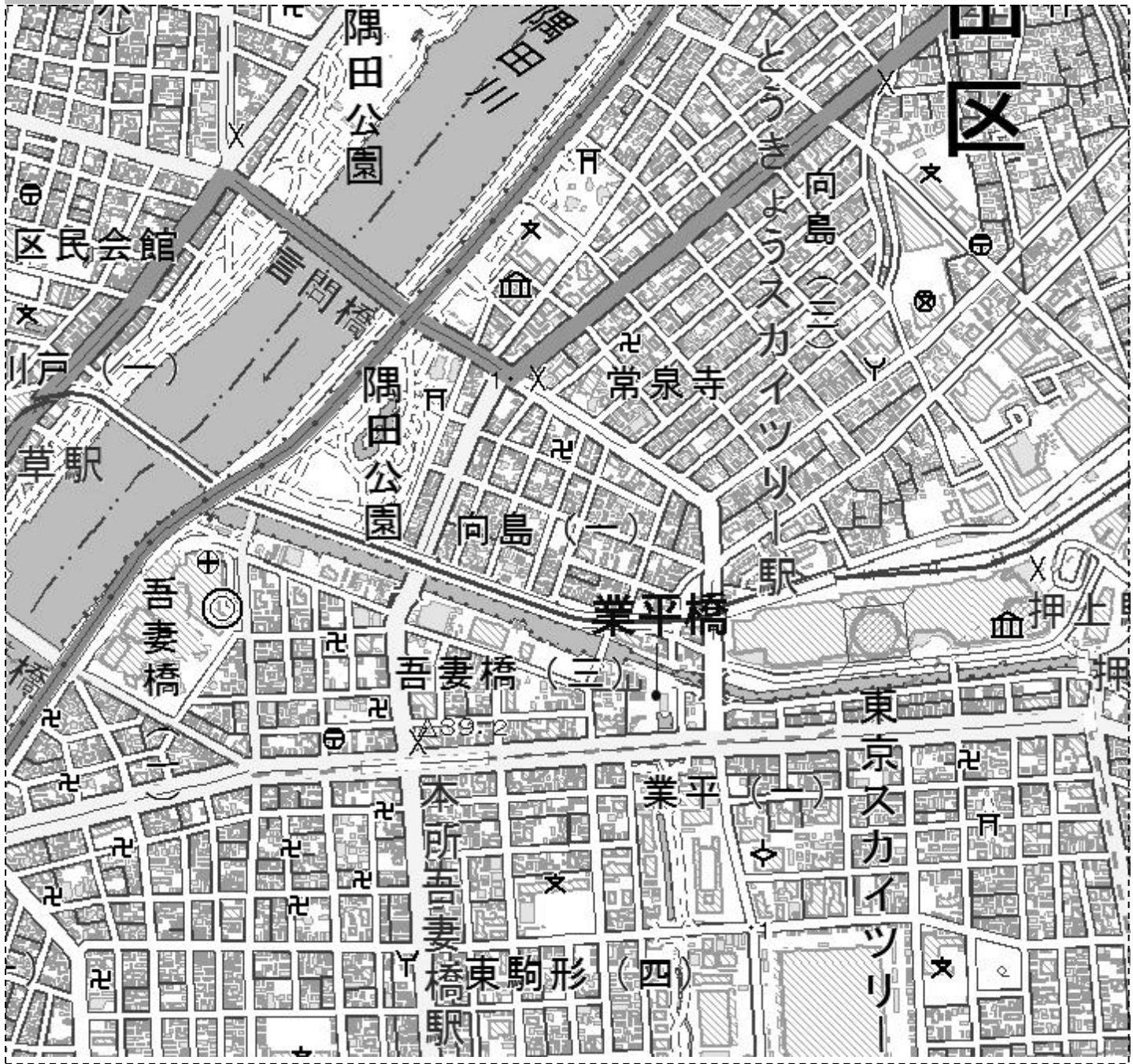
【今に残る古典の名前①】

教科書（77ページ）に紹介されている「言問橋」「業平橋」「業平町」「業平道」「在原神社」について、場所や言い伝えなどを詳しく調べる。（紹介されているものの中から一つを選ぶ。）

調べた場所

「地図を模写する、もしくはコピーを貼るなどし、該当の場所に印を付ける。」

サンプル



※国土地理院の電子地形図（タイル）に地名等を追加して掲載

「当地キャラクターと古典①」

年 組 番 名前

【今に残る古典の名前①】

教科書（77ページ）に紹介されている「言問橋」「業平橋」「業平町」「業平道」「在原神社」について、場所や言い伝えなどを詳しく調べる。（紹介されているものの中から一つを選ぶ。）

調べた場所

業平橋（東京都墨田区）

「地図を模写する、もしくはコピーを貼るなどし、該当の場所に印を付ける。」

「当地キャラクターと古典②」

年 組 番 名前

【今に残る古典の名前②】

「概要・現在の形」

「名称の由来・歴史など」

「その①」

サンプル

「当地キャラクターと古典②」

年 組 番 名前

【今に残る古典の名前②】

〔概要・現在の形〕

- ・東京都墨田区の大横川親水公園に架かる橋。もともと墨田区内を流れていた大横川に架かっていたが、川は大部分が埋め立てられて、大横川親水公園となった。
- ・大横川親水公園は、南北が一八〇〇メートルに渡る大規模な公園で、業平橋はその起点に位置する。

〔名称の由来・歴史など〕

- ・橋が最初に作られたのは一六六二年（寛文二年）で、近くに業平天神があったことが名称の由来とされる。ただし、相撲取りの成川運平の「成平」による（『遊歴雑記』第三編 巻の上 「第十六 業平橋 業平塚の濫觴」）などの話もあり、はつきりしない。最初の橋は、長さ約十三メートル、幅約三、五メートルの板橋で、一九三〇年（昭和五年）に現在のような鉄橋に架け替えられた。
- 「業平橋 横川に架す、長七間幅二間の板橋なり寛文二年伊奈半十郎奉行して掛渡せり、業平天神の社邊なるを以て其名とす、」（『新編武蔵風土記稿 卷之二十四 葛飾郡之五』より）
- ・業平天神は、明治初年まで中ノ郷八軒町（現在の浅草三丁目の辺り）にあった「南蔵院」という寺に祀られていた。「南蔵院」は、現在は葛飾区に移転している。
- ・業平天神はそこに業平塚があったことにより建立されたと伝えられるが、業平塚自体のいわれについては諸説ある。「南蔵院」のサイトには、東下りの際に、隅田川で舟遊びをした時、船が転覆して多くの人が亡くなり、業平がそれらの人々を吊ったのが業平塚であるという伝承が紹介されている。また、『江戸名所図会』（七巻「業平天神社」）では、東下りの際、舟が沈んで業平が溺死し、それをいたんで里人が業平塚を作ったという話が記されている。

〔その他〕

- ・「業平橋」という私鉄の駅名もあったが、東京スカイツリーの開業に伴い、駅の名が「とうきょうスカイツリー駅」に改称された。

「当地キャラクターと古典」③

年 組 番 名前

【課題1】

教科書（78ページ）に紹介されている「当地キャラクターの中から一つを選び、詳しく調べる。

「名前」

「プロフィール」

「イラスト」

「モデルとなった作品・伝説・人物」

サンプル

『当地キャラクターと古典』③

年 組 番 名前

【課題1】

教科書（78ページ）に紹介されているご当地キャラクターの中から一つを選び、詳しく調べる。

【名前】

飛梅丸

【プロフィール】

・「ふくおか県民文化祭」マスコットキャラクター。

・太宰府天満宮の「飛梅」をモチーフにしている。

・誕生日：5月27日（ふたご座）／年齢：6歳／

性別：たぶん男の子／性格：明るく元気、芸能好き

趣味：合唱、お絵描き／特徴：一頭身／仕事：「ふ

くおか県民文化祭」のPR

・一言「県文祭に行く梅（ばい）！見る梅（ばい）！

参加するばい！」

・二〇〇四年に福岡県で開催された「第19回国民文化

祭」から登場。

【イラスト】



【モデルとなった作品・伝説・人物】

・「飛梅伝説」がモデル。「飛梅」は、福岡県の太宰府天満宮の神木で、樹齢一〇〇〇年を越す白梅である。

境内の、本殿に向かって右側に植えられている。

・平安時代の政治家、菅原道真（八四五―九〇三）は右大臣の職にあったが、左大臣の藤原時平の策略によるものか、罪なくして太宰府に流され、その地で没した。

・道真は、京の都を立つ際、邸宅の庭の梅の木を見て「東風吹かばにほひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな」という歌を詠んだ。残された梅の木は主人を慕い、一夜のうちに京から太宰府まで飛んできた

という。これが「飛梅伝説」である。

・道真が流された時の話は「大鏡」に詳しく記されており、「東風吹かば…」の歌とともに非常に有名。教科書にも取り上げられている。

・道真の死後、京の都には異変が相次いだため、人々は道真が恨みから怨霊となったと考えた。その怒りを鎮めるために天満宮が建立され、道真は神として祀られるようになった。

「当地キャラクターと古典④」

年 組 番 名前

【課題2】

「調べる作品・伝説・人物」

Blank box for writing the title of the work, legend, or character to be investigated.

「関係する土地」

Blank box for writing the location related to the work, legend, or character.

Main writing area with vertical lines for notes.

『当地キャラクターと古典』④

年 組 番 名前

【課題2】

〔調べる作品・伝説・人物〕

〔関係する土地〕

塙保己一

埼玉県本庄市

・塙保己一（一七四六―一八二二）は江戸時代の国学者。『群書類従』を刊行した。

武蔵国児玉郡保木野村（今の埼玉県本庄市児玉町）の農家、荻野宇兵衛おぎのうへえの長男として生まれる。

・幼名を虎之助といったが、七歳で失明し、辰之助と改名。十五歳で江戸に出て雨富須賀一あめとみすけいち検校に入門。名を千弥せんやと改めた。

※検校：室町時代以降に、盲人に与えられた最高の官命。専用の頭巾・衣服・杖などの所持が許された。

・須賀一の勧めで隣家に住む旗本の松平乗尹から学問の手ほどきを受け、さらに乗尹の紹介で萩原宗固に国学や和歌を学ぶ。それ以外にも、漢学や日本神道、古代法、医学など幅広く学問を修めた。

・十八歳で名を保木野一と改名。二十四歳の時、宗固の勧めで賀茂真淵に入門する。

・三十歳の時に雨富検校の姓である塙の姓を名乗り、名も保己一と改める。

・安永八年（一七七九年）三十四歳の時、日本各地に残る未刊の図書を叢書として出版刊行することを決意し編纂に着手した。決意から四十一年後の文政二年（一八一九年）、幕府の援助も得て、『群書類従』（正編五三〇巻）を完成させた。

・『群書類従』編纂の傍ら、三十八歳の時に検校となり、四十八歳の時には、江戸の麴町六番町に和学講談所を設立、後進の教育と図書・資料に関する研究活動を推進した。

・文政四年（一八二二年）、二月に総検校（検校の最高位）となり、九月に七十六歳で没した。

・保己一の活動は、後年アメリカのヘレン・ケラーにも影響を与えた。

・保己一は優れた記憶力を持っていた。一説には、六万冊の蔵書の内容を全て記憶していたと言われている。
・和学講談所の蔵書は、貸し出しは禁止されていた。しかし、保己一は誰でも和学講談所への入門を許し、講義の聴講や資料の閲覧にも快く応じるなど、多くの人が蔵書を見ることができるようになっていた。

⑤ 本地キャラクターと古典

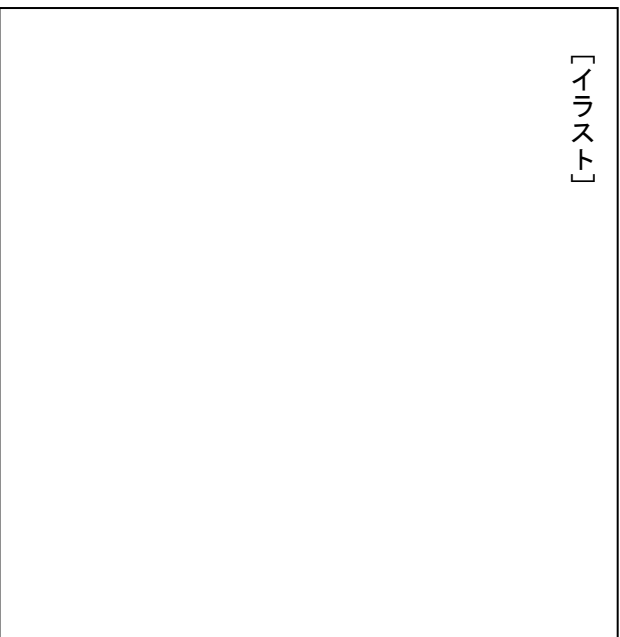
【課題3】

年 組 番 名前

【名前】

【プロフィール】

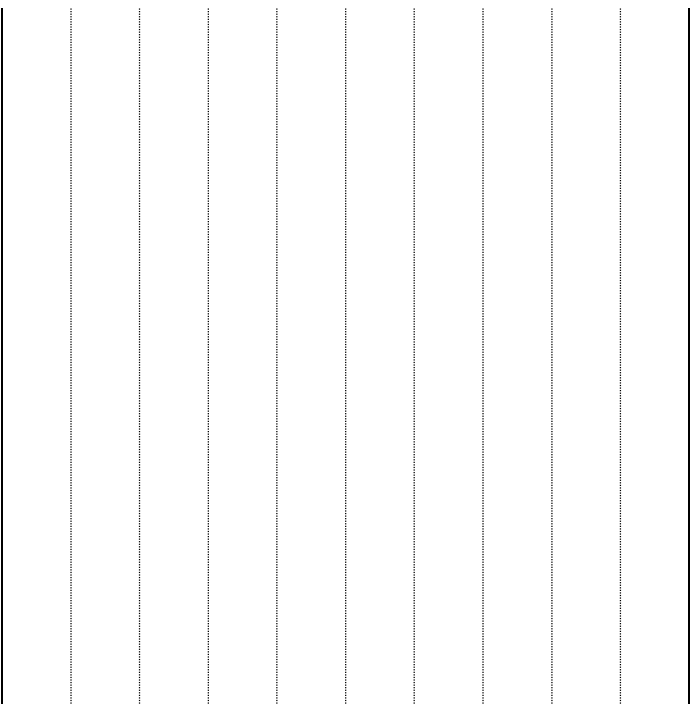
【イラスト】



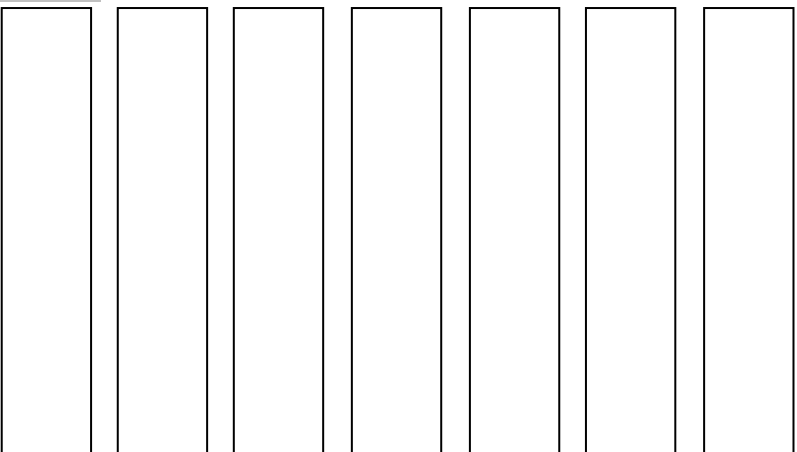
各自が考案したキャラクターを交流し、興味をひかれたものについて感想などメモしておこう。

【キャラクター名】

【感想】



サンプル



「当地キャラクターと古典⑤」

年 組 番 名前

【課題3】

「名前」

ほつきいー

「プロフィール」

- ・ 検校の服装をしており、頭巾をかぶっている。
- ・ 愛読書は『群書類従』。『群書類従』を常に手にしており、触り心地を楽しんでいる。
- ・ 実は記憶力抜群で、一度聞いたことは忘れない。
- ・ 得意な科目は国語と社会。音楽が苦手。
- ・ 図書委員をしており、みんなにたくさん本を読んでもらいたいと思っている。趣味は古本屋巡り。
- ・ アメリカに、女の子の友人「ヘレン」がいる。

「イラスト」



各自が考案したキャラクターを交流し、興味をひかれたものについて感想などメモしておこう。

「キャラクター名」

「感想」

サンプル

--	--	--	--	--	--	--

└┘ └┘ └┘ └┘ └┘ └┘ └┘

└┘ └┘ └┘ └┘ └┘ └┘ └┘

「当地キャラクターと古典」⑥

年 組 番 名前

【課題4】

「名称・何の名前か」

「関係する土地」

[]

┌

└

「どういった関係か」

[]

┌

└

[]

┌

└

[]

┌

└

サンプル

[]

『当地キャラクターと古典』⑥

年 組 番 名前

【課題4】

〔名称・何の名称か〕

萩の月・菓子

〔関係する土地〕

〔宮城県仙台市〕

「どういう関係か」「古今和歌集』恋歌四・六九四、詠み人知らず「宮木野のもとあらの小萩露を重み風を待つこと君をこそ待て」という歌があるように、宮城野の萩は古来有名で、それを用いて名を付けた。

更級通り

〔千葉県市原市〕

『更級日記』の作者である菅原孝標女が、父の任国であった上総から京へと向かった時の旅立ちの地が、この辺りであったとされることにちなんで命名された。

「当地キャラクターと古典

年 組 番 名前

【作業用・調査メモ】

※何で調べたのか必ず出典を明示する。図書資料の場合は書名・著者名・出版社・発行年等を書く。インターネットの場合はサイト名とURLを書いておく。

サンプル

「当地キャラクターと古典

年 組 番 名前

【作業用・資料貼り付けシート】

※資料は必ず出所が分かるようにしておく。図書資料の場合は書名・出版社・発行年等を書くか、奥付のコピーと一緒に貼るとよい。インターネットの場合はサイト名とURLを書いておく。

サンプル